

# 自銀の北海道へようこそ

## 沖縄県本部町

### 親善交流団が来町



これから末永くお付き合いをお願いします。」と述べました。この後、南富良野中学校吹奏楽部の生徒による演奏が披露され、本部町の子ども達からは、「皆さんとの交流や、冬の北海道を体験するのが楽しみです。」などと自己紹介をした後、琉球舞踊やエイサーを披露し、ホームステイ受入

「友好の町」沖縄県本部町との間で平成3年から毎年行われている親善交流事業として、本部町から19名の交流団の皆さん（小学5年生15名、随行者4名）が1月30日から2月3日までの日程で本町を訪れ、町内の児童やホームステイ受入家族などと交流を深め、冬の北海道を満喫しました。

本町に到着した交流団は、辺り一面に積もった雪に感激しながら役場を表敬訪問し、池部町長と懇談しました。

午後6時から総合福祉センターで行われた歓迎会では、池部町長の挨拶の後、交流団の新垣団長が、「心温まる歓迎に感謝します。

家族と食事をしながら楽しく交流を深めていました。

2日目は、幾寅小学校の児童と全校交流会を行い、本部町の紹介や「琉球舞踊」などを披露しました。5年生とは教室で、沖縄と北海道のくらしなどについて様々なテーマで交流を行った後、グラウンドで雪遊びをしました。午後からはどこ

ころ野外学校で犬ぞりを体験し、空知川スポーツリンクスで落合小学校と北落合小学校の児童と一緒にカーリングに挑戦し、ツルツルのリンクに悪戦苦闘しながら、初めての氷上スポーツも楽しめました。

3日目、東鹿越で凍った



スピードにビックリ！犬ソリ体験

湖面に驚きながらワカサギ釣りを体験した後、スキー場で金山小学校と下金山小学校の児童からスキーの指導を受け、時間が経つにつれ全員が上手に滑れるようになりました。中には、スキー場の頂上へ挑戦した児童もあり、時間を忘れてスキーを楽しみました。

この日の夜は、それぞれのホームステイ先に分かれて、北海道の家庭料理と冬の暮らしを体験しました。

4日目の朝、ホームステイ先の家族に見送られて本町を離れ札幌に移動。ラーメン横丁で札幌ラーメンを食べた後、雪まつり会場や時計台、テレビ塔、二



ツルツルのリンクに悪戦苦闘したカーリング

条市場などで見学や買い物をして、地下鉄の乗車も体験しました。

5日目、交流団の皆さんは、厳しい寒さと美しい白銀の北海道の思い出を胸に、2,600キロ離れた南国沖縄へと帰っていきま



楽しみにしていたスキーを体験



時計台の前で記念撮影